

朝霞市立朝霞第一中学校
校長 嶋 徹

1 はじめに

21世紀を逞しく生き抜く力を育むために、これまで以上に社会の変化に主体的かつ柔軟に対応できる力の育成が求められている。学習指導要領はこれまでの「生きる力」の理念を継承し、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランス良く身に付ける教育を求めている。効果的な教育活動を推進するためには、学校が組織体として機能すること、教職員の協働体制が確立されていることが必須条件である。

保護者が学校に期待することは、①社会の変化に対応できる学力（定着と向上）、②集団生活に必要な人間的資質の向上、③困難な状況でも粘り強く頑張り抜ける逞しい心身の育成である。こうした保護者の信託に応え信頼関係を構築するためには、子どもの成長や変容を実感させる教育活動の公開と蓄積が鍵となる。

学校教育の中核は授業である。日々の授業では、学習のねらいを明確にして、1時間1時間の積み上げが学力の定着と向上に直結する（5.0分1本勝負）。その際、内発的な学習意欲を喚起し、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力及び表現力などの学力を意図的計画的に育成するとともに、習得・活用・探究を意識して、深い学びで「生きる力」を育成する。

各教科の特性を活かして、**授業で「人づくり」を推進する**ことが、学校教育の責務である。

2 校訓と学校教育目標

【校訓】 自立 貢献 信頼

【学校教育目標】 ○自ら学ぶ生徒（知）

○思いやりのある生徒（徳）

○健康に努める生徒（体）

3 目指す生徒像・学校像・教師像

（1）目指す生徒像

未来への夢や目標をもち、志を高く歩み続ける生徒

- ◎ 授業で力を発揮し高め合う生徒
- ◎ 優しい言葉がけができる心豊かな生徒
- ◎ 進んで活動し心身を鍛える生徒

（2）目指す学校像

生き生き学び高め合う学校 一人一人の良さを伸ばす元気な学校

- ◎ 教職員が組織的・協働的に教育活動を行う学校（共通理解と共通行動）
- ◎ 一人一人の力を高め合う学校（生徒の学力・特性、教員の指導力）
- ◎ 保護者・地域との協働による信頼される学校
- 創意工夫ある教育課程の編成・実施で特色ある教育を推進する学校

- 安全安心で潤いある美しい学校（教育環境の効果的活用と維持管理）

（3）目指す教師像

生徒・保護者・地域から信頼される教師

「教育は人なり」である。生徒にとって、最大の教育環境は教師であり、生徒の育成は教師の双肩にかかっている。問題が発生した時や対応に迷った時の判断基準は、「はじめに子どもありき」である。生徒に寄り添い、教育的愛情を注ぐ教員、5年後10年後を見据えた指導・支援を行う教員、「先生ありがとう」「先生に教わって良かった」と感謝される教員でありたい。

◎ 授業に情熱を注ぎ、楽しい授業を実践する教師

- ※ 楽しい授業とは・・・「わかる・できる」を実感する授業、刺激のある授業、主体的な授業(体験・対話・協調)

- ※ 求められる授業改革の視点・・・「主体的・対話的で深い学び」

- ※ 学習指導は「積極的な生徒指導」

- ◎ 生徒に寄り添い、きめ細かな指導ができる教師
- ◎ 人間的な魅力にあふれ、自己研鑽し続ける教師
- 心身ともに健康で逞しい教師
- 教育公務員として、自覚と誇りを持つ教師（教職員事故の絶無）

4 学校経営方針

- （1）学校教育目標の実現に向けて、組織的・協働的な教育活動を実践する。
- （2）教職員一人一人の持ち味を生かし、活力ある学校づくりを行う。
- （3）教育の専門職としての使命感を持ち、授業に情熱を注ぐ教員を育成する。
- （4）保護者・地域との協働による信頼される学校づくりを行う。
- （5）施設設備を効果的に活用し、安全安心で美しく潤いある学校づくりを行う。

5 今年度の重点目標

（1）創意工夫を活かした特色ある教育課程の編成と実施

- ◎ 教職員の英知を結集した教育活動の実施
- ◎ 人権教育の視点にたった教育活動の実施
- ◎ 少人数指導・TTによるきめ細かな指導
- ◎ ICT機器を効果的に活用する授業実践
- 彩夏祭での鳴子踊り「風雷」の取組

（2）学習指導の充実と学力の向上

- ◎ 学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の構築
 - ・楽しい授業の実践（わかる・できる・刺激）
 - ・「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業
 - ・学習のめあての明確化、学びの道筋の提示、振り返り場面の設定（UDの視点）
 - ・伝え合う場・深め合う場の設定（活動場面の設定、言語活動の充実）
- ◎ 個に応じた指導の充実（積極的な生徒指導の実践）
 - ・少人数指導・TTによるきめ細かな指導の充実
- ◎ 授業規律の徹底
 - ・授業スタンダードの確立

- ・教師の5分前行動・5分後行動の徹底（着席チャイムの取組）
- ◎ ICT機器の効果的な活用
- ◎ 学力向上プランの見直しと指導の改善
- 地域や外部指導者との連携
- 家庭学習の定着と充実
 - ・家庭学習の手引きの作成・配布、ホームページの掲載
 - ・学習シラバスの作成・配布、ホームページの掲載
- (3) 学年・学級経営と生徒指導・教育相談の充実
 - ◎ 生徒の特性を理解し、良さを生かした学年・学級経営（自己有用感の醸成）
 - ◎ いじめ、不登校、問題行動の予防、早期発見・早期解決
 - ・アンケート、面談の実施による早期発見
 - ・いじめ問題の100%解消と見届け
 - ・不登校の減少（生徒の状況把握と適切な支援）
 - ◎ チームワーク・フットワーク・ネットワークを生かした迅速で丁寧な生徒指導
 - ・報告・連絡・相談の徹底と組織的な対応
 - ・さわやか相談室、子ども相談室との連携
 - ・教育委員会、警察等の関係機関との連携強化
 - ◎ カウンセリングの手法を生かした教育相談の充実
 - ◎ 保護者との連携による生徒指導の徹底
 - 生徒会活動等の自治的活動の充実
 - SNSの正しい利用法の指導を徹底
- (4) 道徳教育・人権教育の充実
 - ◎ 道徳的な心情、判断力、態度を育成する道徳授業の実践
 - ・年間指導計画に基づく年間35時間以上の「道徳」の授業実践
 - ・道徳的価値の自覚及び自己の生き方について考えを深める授業
 - ・「考え、議論する道徳」の実践
 - ◎ 「彩の国の道徳」等の資料を活用した、生徒の心を耕す道徳授業の実践
 - ◎ 人権意識の醸成と他人を思いやる豊かな人間性の育成
- (5) 体力の向上と体育活動の充実
 - ◎ 体育授業と運動部活動の質的向上
 - ◎ 効果的・効率的な運動部活動の実施（ガイドラインの遵守）
 - 新体力テストによる効果の検証と継続的な改善
 - 食育の推進と給食指導の充実
- (6) 進路指導・キャリア教育の充実
 - ◎ 「生き方」指導としての進路指導の推進
 - ◎ 3年間を見通した組織的継続的な進路指導・キャリア教育
 - 地域の協力を得て行う職業体験の実施（勤労観・職業観の育成）
 - 高等学校と連携した指導の充実

(7) 特別支援教育の充実と配慮を要する生徒の支援

- ◎ 特別支援学級の尊重と「心のバリアフリー」の推進
 - ・ 特別支援学級と通常学級の交流教育の充実
- ◎ 通常学級における配慮が必要な生徒への支援
- ◎ 保護者との連携強化と信頼関係の確立
- 全教員の共通理解と組織的な対応（コーディネーターの機能と校内体制の充実）
- 関係諸機関との密接な連携（朝霞市、大学、医療機関など）

(8) 校内研修の充実

- ◎ 計画的・継続的な実施による学習指導の工夫改善
- ◎ 外部指導者の招聘による研修会の実施
- ◎ 研究開発学校研究発表会の実施

(9) 安全安心で潤いある教育環境の維持管理

- 施設設備の効果的な活用
- 安心安全で美しい教育環境の創造
- ◎ 清掃指導の徹底（黙々清掃の実施、確認の徹底）
- 掲示教育の充実（教育効果を高める）

(10) 学校・家庭・地域が一体となった教育の実施

- 保護者会や学校公開、学校・学年・学級だより、ホームページなどによる教育情報の発信
- P T Aや地域の関係団体等との連携と地域人材の活用
- ◎ 学校運営協議会の設置と活動の充実
- 地域へのボランティア活動、行事等への参加

(11) 教育公務員として自覚を持った教職員集団の醸成

- 事故情報の提供等による危機管理意識の醸成
- 倫理確立委員会によるボトムアップ研修の実施

平成31年度朝霞第一中学校のスタートに向けて

朝霞市立朝霞第一中学校
校長 嶋 徹

**校内の報・連・相を大事に!!
明るく楽しい職場を!!**

1 事故を防止し、信頼される学校を築くために

(1) 教育公務員としての自覚と責任

- 全体の奉仕者、憲法・法令等の遵守（コンプライアンス）
- 生徒の手本として留意を（挨拶・服装・態度・言葉遣い等）
- 外来者への対応や電話対応にも丁寧に心づかいを

※ ☎：「はい、朝霞第一中学校 ○○です。」

(2) 安定した教育課程の「質」と「量」の確保

- 年間指導計画に基づいた指導
- 学年・教科内での情報交換を密に
- 授業内容や指導方法、評価結果は説明責任を果たす

(3) 信用失墜行為を絶対に起こさない決意

- 体罰や不適切な言動（言葉の暴力）・セクハラ・飲酒運転などの非違行為の絶無
- 自らを守り、家族を守り、同僚・学校の信用を守る

(4) うっかりミスや不注意による事故防止

- 交通事故、盗難、紛失等は自己管理の徹底を
- 個人情報保護の徹底を
- 外部に発出する文書は複数で確認を（必ず起案すること）
- お互いに注意し合える温かい人間関係の醸成を

「えっ?」、「あれっ?」、「ちょっと…?」は危険信号

(5) 安全確保のための条件整備

- 校内組織体制による安全点検と速やかな対応
- 安全教育・防犯教育の充実
- 登下校の安全指導

2 お互いに気持ちよく勤務し、規律ある職場環境とするために

(1) 職員同士も率先して元気な挨拶を

- 気持ちよい挨拶は相互理解のはじまり

- (2) 職員室は職員の執務室であり、声の大きさはほどほどに
 - 電話中や考えごとをしている職員もいるので、周囲への配慮を
 - 必要なコミュニケーションは大事、無駄話は時間外勤務の一因となる
- (3) 職集・職員会議はポイントを絞って簡潔に
 - 限られた時間をできるだけ有効に
- (4) 施設設備・備品の故障等は早めに連絡を
 - 教頭・事務職員・校務員等との連携
- (5) 気軽に話し合え、支え合える人間関係
 - 一人で悩みや問題を抱え込まずに相談を
 - 職員の豊富な経験やアドバイスを相互に伝え合う
 - 効率的な職務遂行を行うために、協働の意識を持つ

< 「信頼」を構築するために >

- (1) 生徒から「信頼」される教師
 - 人を育て、教える厳しさと温かさのある教師
 - 自己の使命を自覚し、研究と修養に努める教師
 - 豊かな人間性を持ち、生徒とともに歩む教師

- ・ 凡庸な教師は、ただしゃべる
 - ・ よい教師は説明する
 - ・ 優れた教師は行動する
 - ・ 偉大な教師は、心に火をつける
- (2) 保護者から「信頼」される教育（再掲）
 - 社会の変化にも対応できる学力の育成（定着と向上）
 - 集団生活に必要な人間的資質の育成
 - 困難な状況でも頑張り抜ける逞しい心身の育成
- (3) 地域から「信頼」される学校
 - 元気に挨拶ができる明るい学校
 - 地域に根ざした開かれた学校

3 働き方改革の推進

- (1) 学校改革（学校全体・学年・分掌・教科部会）
- (2) 自分改革（教科指導・分掌・部活動指導）
 - ※ 仕事の取捨選択と費用対効果の考察
 - ※ 先生方にとっても今しかできないことがある（プライベートも大切に！）